

Compass English Communication III Revised を採択した理由

阿部 隆

私が高校生だった頃、「英語は予習」「英語は辞書を引くこと」であった。今でもこの2つは語学学習の基本と考えるが、英語の予習が、結局は「本文写し」+「新出単語の辞書引き（それも辞書の第一義）」に終始し、肝心の本文を「読む」という行為がおろそかになっていたように思う。しかし、最近の教科書は4技能の修得にしっかりフォーカスされている。そのなかでも、*Compass III Revised* を採択した理由を挙げてみよう。

◆わかりやすい構成

① Unit 1 は Reading Skill を高める読み物，② Unit 2 はその Skill を用いて読むまとまった分量のある英文，③ Unit 3 は実生活に即したさらに分量の多い英文，となっており、「基礎→応用」「少量→多量」の流れがすっきりしている。

また、Unit 1 と Unit 2 は、見開きで完結している構成となっているところも注目に値する。左ページを読んで、右ページの内容把握問題を解く。その後はさまざまな問題が付され飽きさせない。たとえば、本文の内容から連想されることわざを選ばせる問題もあり、工夫がみられる。

Unit 3 では3ページ弱の英文が並ぶ。難易度も上がり、大学入試対策、ととらえることもできる。右ページの問題形式はシンプルになり、気がつけば指示文からも日本語が省かれている。「英語を英語のまま理解する」という方向に、自然と移行させているのがわかる。

◆魅力的な内容と適切な難易度

種々の題材の英文が「易」から「難」へと配置されている。高校生にとっても興味深い題材が多

く、特にパンダの生態に関するレッスン (Unit 2, Lesson 1) は生徒に大人気であった。

本校では、習熟度別クラスを展開しており、1・2年次には、他社の難度の高い教科書を採択していた。3年でもその教科書を使い続けるという選択肢ももちろんあるが、理解に時間のかかる学習者にはかなりの負担だ。難しい英文にじっくり取り組ませるのも1つの方法だが、易しい英文を時間を制限してたくさん読ませる、という方法もあるのではないかと考える。上位の学習者を飽きさせてしまう可能性もあるが、発展的な問題を提示したり、進度をあげたりという工夫次第で、英語運用能力のアップにつながるのではないかと考える。

◆解説プリントの活用

指導用 CD-ROM が充実している。私は、①エクササイズ (右ページ) の解答，②新出単語・熟語リスト，③スラッシュリーディング用英文，④日本語訳を加工し A 4 裏表 1 枚のプリントにして、本文を読ませたあとに配付した。時間が許せば、このプリントを配付する前にエクササイズの解答を生徒に答えさせるのでも良いし、英問英答の活動に発展させることもできる。②で発音練習をし、③で音読練習や、さらに④を用いて、英文を手で隠させて和文英訳という難易度の高い活動をさせることもできる。

「こんな教科書があったら、当時の自分をもっと力がついたかも…」と思ってしまうのは、自分の逃げかもしれないが、*Compass* は私にそう思わせるほど素敵な教科書だった。

(あべ たかし・千葉県立成東高等学校教諭)